

青年部がスノーメッセージ制作（2月27日／美唄市光珠内中央の国道12号沿い）

■発行日/平成31年4月1日/No.1404号

■発行/峰延農業協同組合

〒079-0192 美唄市字峰延37番地

Tel 0126(67)2111 Fax 0126(67)2793

ホームページアドレス <http://www.ja-minenobu.or.jp/>

■編集/総務課 ■印刷/空知印刷株式会社

地区別懇談会終了

J A の地区別懇談会は3月11日から15日の4日間（12日は除く）、会場を午前と午後に分けて全7会場での開催を終えました。この懇談会では、通常総会の開催に先立つて例年開催していて、J A の平成30年度事業の決算結果と剩余金処分案、平成31年度事業計画設定、第10次地域農業振興計画・中期経営計画設定の他に営農関係の平成31年度の取り組み内容が説明されました。

好天が続き融雪が順調で春作業で忙しい中を多くの組合員の皆さまが出席、日頃から抱いているJA事業運営上の疑問や意見、要望等が多く出されて盛会裡に終わりました。

懇談会で出された意見、要望等は整理しQ & Aにして後日常会でお知らせします。

吉田彰さんが北海道指導農業士の認定を受ける



吉田 彰さん(中央)と吉村俊子さん、
加藤禎行さん

道知事より北海道指導農業士として認定されました。

指導農業士の制度は昭和46年から始まり、これまでに810人余りの農業者が認定されています。

当JA管内では平成14年に認定を受けた吉村俊子（光珠内）さん、平成29年に加藤禎行（豊葦）さんに次ぐ3人目の認定となります。

北海道指導農業士・北海道農業士制度は、次代の担い手指導や地域農業振興などに対する助言、協力を行う優れた農業者の活動を支援することを目的として北海道が創設したもので、経営実績が優れ、担い手の育成に強い熱意と指導性

があり、地域のリーダーとしても活躍が期待される農業者を北海道知事が認定しています。

3月臨時理事会開催

3月25日開催の第2回理事会において次の事項が決定されました。

◇付議事項 ◇

1. 平成31年度事業計画について
2. 第10次地域農業振興計画・中期経営計画（2019年～2021年）の設定について

3. 営農賦課金の賦課および徴収方法について

4. 役員報酬の支給について

5. 土地改良法に基づく土地改良事業の実施について

6. 出資増口の実施について

7. 役員の選任について

8. 退任役員に対する役員退職慰労金の支給について

9. 通常総会の開催と招集について

10. 総会における表彰について

11. 大豆乾燥調製貯蔵施設の利用料設定について

12. 多目的メッシュコンテナの利用料改定について

第2回（3月定例）理事会開催

-報徳-

1. 農家経済再建対策組合員・農業経営強化資金借入者に対する資金の貸付について
2. 平成31年度の余裕金運用基本方針について

翁のことばに、世間には、家業に出精するのを欲が深いと思つたりするが、大きな誤りといふべきだ。家業は出精せねばならないものだ。怠つては済まぬものだ。欲は、これと違つて押さえねばならぬものだ。人にはそれぞれ家の業がある。官吏が国家のために尽力するのは家業出精だ。教師が教育に勤勉するのも家業出精だ。僧侶が戒律をよく守るのも家業出精だ。医師が病人に心力を尽くすのも家業出精だ。農、工、商みんな同じであつて、よく心得て混同しないようにせねばならぬ。



開催の挨拶をする吉村部長

2月22日、当JA三階第2会議室で、JA女性部（吉村俊子部長）の第68回通常総会が開催されました。

当日はフレッシュミズの会のメンバーを含めて24名が出席し、光北支部の酒巻監事が司会を務めました。

吉村部長の挨拶に続き、来賓の森川組合長、峰延農民協議会の池上委員長から祝辞を頂きました。

その後、議長に光北支部の志水喜美江さんが選出され議事に入り、

平成30年度の事業経過、収支決算報告に統一して、次年度の活動方針、事業計画、収支予算案等の提案、規約の一部改正などの提案がなされ、全議案原案通り承認可決されました。

今年度は任期満了による役員改選が行われ、吉村部長の再選を含め新役員6名が選任されました。

総会終了後は、別室で部員による衣料や雑貨、食料品の作品が出品された「生活作品展」が催され、毛糸で作った円座やベスト、アクセサリーなどが陳列されたほか会場内では五平餅や大豆の五目煮な



役員改選で新役員となった皆さん

どの試食も行われました。

昼の休憩を挟んで、引続き同会

場にて「女性セミナー」を開催し、

MBS毎日放送にて制作された農

業応援バラエティー番組の『ビ

バ！農業 ニッポンのすてごいフ

アーマーズ』のビデオ上映が行わ

れ、北海道大学で研究されている

無人トラクター、十勝で生産して

いる南国果物のマンゴー栽培、外

観が良くない規格外の野菜をお弁

当のおかずの材料に使用して廃棄

することなく販売する青果店など

の取組みを、部員達は真剣な面持

ちで視聴していました。

この日は、半日がかりの日程でしたが、融雪材散布の時期で春の農作業が忙しくなる前の会合となり、1ヶ月ぶりに集まつた部員達は色々な情報交換しながら交流を深めることができた1日となりました。

・監事	・理事	・副部長	・部長	平成31年度新役員
鈴木美恵子（峰延支部）	小川真知子（光中支部）	矢部亜紀子（峰延支部）	澤田三枝子（峰延支部）	吉村 俊子（光北支部）
荒井 智美（光北支部）				

J Aみねのぶ夏期【4月～10月】営業時間 (平成31年4月1日～平成31年10月31日)

J Aの営業時間が次のとおり夏期営業時間に変わります。一層のご利用をお待ち申し上げています。

	平日（月曜～金曜）	土曜	日曜	祝日
本部事務所（ビル2階）	午前8時30分～午後5時	午前8時30分～正午		
金融店舗（ビル1階）	午前8時30分～午後4時	休み		
営農事務所	午前8時30分～午後5時	午前8時30分～正午	休み	
営農資材店舗				
精米所	午前8時30分～午後5時 *精米所は毎週木曜日休み	休み		
ATM（現金自動預払機）	午前8時30分～午後6時30分	午前9時～午後6時30分	休み	
生活店舗		午前9時30分～午後6時30分		
峰延給油所		午前7時30分～午後7時30分	午前7時30分～午後7時	

【ご留意】

*金融店舗

・為替振込業務…平日（月曜～金曜）の午前8時30分～午後3時

*営農資材店舗の営業時間

・4月6日（土）～5月26日（日）（5月5日は除く）…土曜・日曜・祝日は平日同様の午前8時30分～午後5時まで営業

*土曜・日曜・祝日の配達業務は行っておりません。

・6月1日～9月30日 … 日曜・祝日は休業、土曜日は午前8時～午前11時まで営業

J Aみねのぶの営業時間が4月1日から10月31日までの期間、夏期営業時間に変わります。

各部署の営業時間は次の通りです。これまで以上のご利用をお待ち申し上げます。

営業時間の変更 4月から夏期営業時間

青年部が「みねのぶ農業」PRのスノーメッセージを制作

2月27日、JAみねのぶ青年部
(伊藤克哉部長)が美唄市光珠内

中央の国道12号沿いに作つた雪山に、「みねのぶ農業」をPRするスローケーブルを作りました。

ヤシヨベルで更に積み上げ、スコップで形を整え、「挑む農業 峰延いつきまーす!!」等の文字を彫りカラースプレーで色付けし完成させました。この日は快晴で朝の気温が下がり雪が凍つて硬く、スコップ作業がやりづらい状態で青年部の皆さんは黙々と作業に当たり、峰延農業にかける熱い意気込みが伝わっていました。伊藤青年部長は「みねのぶ農業の意気込みが国道を往来する皆さんに少しでも認知してもらえるよう期待して

ハーブ米生産部会が総会開催
3月7日、JA三階会議室にて
香りの畦みちハーブ米生産部会の
総会が開催されました。

平成31年度香りの畦みちハーブ米生産部会総会



開催の挨拶をする郷野部会長

お世話になつた農協と組合員の皆さまに感謝を申し上げますと善種金に金一封の推讓をお受けいたしました。

真野家光さんから
善種金に推譲

おくやみ申し上げます

ゴールデンウィーク中のATM・貯金・共済の業務能率

月日(曜日)		共済窓口	貯金窓口	ATM
4 月	26日(金)	通常営業	通常営業	8時30分～18時30分
	27日(土)	休 み	休 み	9時00分～18時30分
	28日(日)	休 み	休 み	9時00分～18時30分
	29日(月・祝)	休 み	休 み	休 み
	30日(火・祝)	休 み	休 み	休 み
5 月	1日(水・祝)	休 み	休 み	休 み
	2日(木)	休 み	休 み	休 み
	3日(金・祝)	休 み	休 み	休 み
	4日(土・祝)	休 み	休 み	休 み
	5日(日・祝)	休 み	休 み	休 み
	6日(月・振休)	休 み	休 み	休 み
	7日(火)	通常営業	通常営業	8時30分～18時30分

内田光雄さん (90歳) 2月24日
橋場康代さん 岩見沢市峰延町368番地
（64歳）2月24日
美唄市豊葦町2区
（85歳）3月15日
林葉子さん 美唄市峰延町本町

(略省吸)

石川弘樹
中村呂仁
宮田英治
沼田昌樹
青年部

部会長 副部会 役員 役員 役員 役員

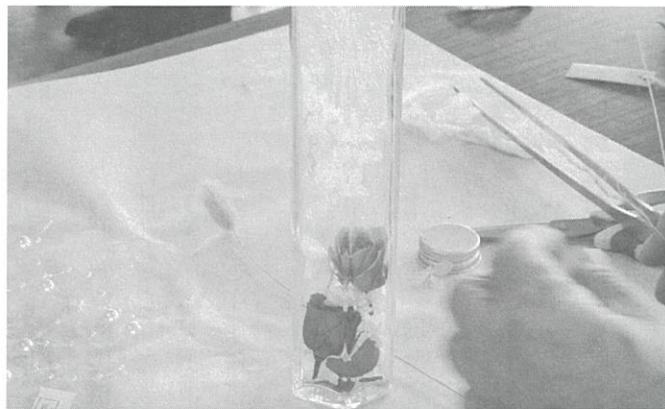
石川弘樹

J A女性部が ハーバリウム講習会を開催

J A女性部（吉村俊子部長）が3月5日、当JA三階会議室で「ハーバリウム講習会」を開催し、部員15名が参加しました。

この講習会は毎年農作業が忙しくなる前の3月上旬に実施していって、春が近づいているこの時期だからこそ「お花」を使った講習をしたいという部員の皆さんのが希望で行われました。

「ハーバリウム」とは元々は植物を乾燥させた標本の集積を表す言葉ですが、近年は観賞目的で製



製作中のハーバリウム



講習会に参加した女性部の皆さん

しようか楽しそうに選んでいました。

山田講師からは1人1人丁寧に「ここはこうした方がいいかな」「パールを回しながら入れると綺麗ですよ」等とアドバイスを受け、長いピンセットでバランスを整えながら作業を進め、オイルを注入して最後にリボン等を添えて「自分でお気に入りの1品」が完成。

部員の皆さんには花に囲まれて、みんなで交流しながら楽しいひとときを過ごしました。

峰延農協協栄会総会開催

当JAの役員OBで構成する協栄会の総会が3月19日、美唄市内のゆりん館で開催されました。

会員7人が出席し平成30年度の事業結果・収支決算、平成31年度事業計画案・収支予算案が原案通り決定されました。

今回の講習会で指導をしたのは、美唄市内でフラワーデザインスクールの講師をしている山田留美子さんで、他に青果店も営んでおり、公益社団法人日本フラワーデザイナー協会の講師を務めています。

山田講師が会場に用意した花は本当に色とりどりで、部員の皆さんには沢山の花を目の前にどの花に

峰延ブランド米生産組合が総会開催

2月26日、当JA三階会議室で峰延ブランド米生産組合（鈴木孝典組合長）の総会が開催されました。

当JAの森川組合長の祝辞に続き、議長に世羅大さん（光珠内中央）が選出され、平成30年度事業報告、平成31年度事業計画（案）、栽培・生産・出荷基準協定書（案）の設定、平成32年播種用

「ゆめぴりか」種子配分方法が協議され、原案通り承認されました。

総会終了後は講習会が行われ、空知農業改良普及センターの二俣係長より「平成30年産の反省と品質向上技術について」を、スライドや資料を用いて説明を受け、後に質疑応答の時間が設けられ、熱心に質問が出されていました。

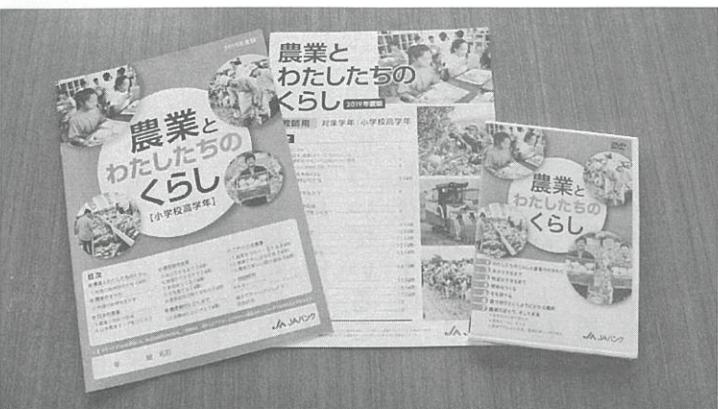


開催の挨拶をする鈴木組合長

「食農教育」補助教材贈呈

小学生向けに作成した食農教育の補助教材を当JAから美唄市教育委員会を通じて峰延小学校に贈呈しました。

3月26日、当JAの伊藤専務理事とJAびばい伊藤正人専務理事が揃って美唄市教育委員会を訪ね星野恒徳教育長に各JA管内にある小学校の生徒人数分の教材を手渡しし、伊藤専務理事からは、峰延小学校の児童分10冊を贈呈しま



贈呈した食農教育補助教材



平成20年度から始めた「JAバンク食農教育応援事業」は、JAバンク（JA・信連・農林中金）が全国の子供たちに向けて食・環境と農業への理解を深めてもらおうと食農教育の補助教材の贈呈を継続して実施しています。

贈呈した補助教材は、教材名が「農業とわたしたちのくらし」で私たちの生活に欠かせない食と農業、環境と農業の密接なかかわり

「美唄の基幹産業は農業で、この教材を使って農業の事を学び、理解を深めることができるので活用させていただきます。」と述べていました。

30年産米食味ランキング発表「ななつぼし」「ゆめぴりか」が特A評価

日本穀物検定協会は2月27日に平成30年産米の食味ランキングを発表しました。炊飯した白飯を実際に試食して評価する食味官能試験に基づき評価するもので、専門の評価員20人が外観、香り、味、粘り、硬さ、総合評価の6項目について5段階で評価します。食味試験のランクは、複数産地コシヒカリのブレンド米を基準米として、これと試験対象産地品種と比較し、基準米よりも特に良好なものを持つ「特A」、良好なものを「A」、概ね同等のものを「B」、やや劣る

の他、安定した食が各家庭に届くまでの流通や農畜産物の全国の产地等をイラスト・写真・グラフをふんだんに使い総合的に学習することが出来る内容の小学校5年生向け冊子と教師用の指導書の2種類とDVDです。

贈呈を受けて星野教育長は、「A」から2ランクアップ3銘柄、「特A」の34銘柄、前年「A」からランクアップの15銘柄、前年「A」から2ランクアップ3銘柄、新規3銘柄。29年産で「A」に転落した新潟魚沼コシヒカリは「特A」に返り咲きました。

「特A」の55銘柄は対象154銘柄の35・7%で、「特A」率は過去最高を更新しました。(29年産28・5%、28年産31・2%、27年産33・1%)

北海道の「ななつぼし」は9年連続で「特A」、「ゆめぴりか」は8年連続で「特A」でした。「ふつくりんこ」は29年産が「特A」から「A」に下がり、30年産も「A」でした。

ものを「B」、劣るものをして5段階評価でランク付けを行います。

30年産米は154産地品種銘柄(29年産151銘柄、28年産141銘柄、27年産139銘柄)で最高ランクの特Aにランクインしたのは55銘柄で、内訳は前年

【連載】～続・今こそJA！～

【第10回】規制改革推進会議への反発

改革プランの策定から2年後の平成28年11月、規制改革推進会議の農業ワーキンググループは「農協改革に関する意見」を発表しました。その内容はあまりにも急進的でありJA解体ともとれる内容でした。

【規制改革推進会議農業WG「農協改革に関する意見」(抜粋)】

- ①全農の購買事業を新たな組織に転換。
- ②全農の委託販売廃止し、全量買取販売へ転換。
- ③信用事業を行うJAを3年後には半減。
- ④北海道のクミカン制度を廃止。
- ⑤農業者に対する農協利用の強制を禁止。

農協改革といつても、実際は全農が現在行っている一元集荷多元販売や予約購買といった協同組合としての事業を手放し、さらに販売事業に集中できるよう信用事業を譲渡せよという内容であり、まさに協同組合組織の根幹にかかわるものでした。

J Aグループが自己改革に取り組んでいる中、あまりにも踏み込み過ぎの内容に野党のみならず与党の国会議員からも規制改革推進会議に対する批判が集中し、さらにクミカンが農業者の自主的な経営を阻害しているといった指摘があまりにも事実とかけ離れているなど、JAグループ北海道も連日のように強力な要請運動を展開しました。

最終的にこの「農協改革に関する意見」は前文を含めほとんどの表現が削除又は大幅な見直しとなって収束しましたが、その後、規制改革推進会議は農協組織の改革の実施状況についてこれからも監視を続けると発表、さらに小泉進次郎農林部会長は一連の決定に対して「負けて勝つ」というコメントを残しました。規制改革推進会議の農協改革はいまも水面下で続いているのです。

3月22日付けで採用した職員を
2名紹介します。

当人には、一日も早く職場に慣
れ担当業務に精通し一人前のJA
職員になるよう伝えてあります。
皆さまのご指導、ご鞭撻のほど宜
しくお願いいたします。

・出身地	・年齢	・氏名	・年齢	・氏名
岩見沢市栗沢町	18歳	影山桃花 (かげやま ももか)	18歳	野口輝太 (のぐち こうた)
学校農業科学科	北海道岩見沢農業高等		とわの森三愛高等学校	普通科

|| 職員採用 ||

第29回JA北海道大会(平成30年11月13日) ~パネルディスカッション~

「多様化する組合員ニーズに応える新たな協同組合の価値創造」

J A 北海道大会当日に開催したパネルディスカッションの内容を2回に分けてご紹介します。（2回目）

東北の被災地では農業や漁業再生のため土壤スクリーニング（放射能測定）、漁場再生、農地のがれき処理などで、生協組合員が活躍しました。

漁業では、壊滅した三陸のカキの養殖を、ライバルである広島が稚貝を提供して復活させました。協同組合には、地域や分野を超えて連携する底力があるのです。多様な人々が互いに支えあう協同組合の可能性は、垣根を越えた連携にこそあるのだと思います。

宮入教授 生協側から見たJAへの期待、連携してできること、今後の課題、期待などを教えて下さい。



行友 弥氏

(株)農林中金総合研究所
顧問 特任研究员

J Aと生協連間で連携協定を結んでいます。地域課題も様々あり、J Aだけで、生協だけでではなく、協同組合が連携して新たな課題に対応できるのではという観点で討論したいと思います。



宮入 隆氏

北海学園大学 教授



小野寺 俊幸氏

J A 北海道中央会副会長
J A ところ 会長理事

宮入教授 JA施設と生協の流通網を生かすと、もつと力強い繋がりの中で、事業ができると思います。

JA協連で災害対策も担当したが、災害時、生協とJAがそれぞれで被害把握と対応をします。一緒に助け合いができるないでしょうか。食材などの支援物資をJAからも頂ければ、生協のトラックで運べます。今年は、災害が多くなったこともあり、連携の大切さを実感しています。

常呂の漁協とJAの連携内容を教えて下さい。

協同組合が全国に持つ施設は、36,500と小学校区1つあたり2つある計算になりますが、遊休施設もある。生協は施設が少ないので、一緒に活用できれば助かる。組合員・職員が一緒に取り組めば、よりプラスになることを見つけて、やつていきたい。



(一社)日本協同組合
連携機構
(JCA) 當務理事

山に木を植えることから連携が始まり、ガソリンスタンドや石灰工場をJAと漁協で協同して経営しています。また、漁協者がホタテの稚貝を撒く時には、農家組合員の若い人も手伝いに行き、漁業者も、農家が忙しい時には手伝うなど、地域産業を盛り上げようと頑張つて

地域課題が多様化する中、協同組合が核となり、連携する形を考える重要性を改めて認識しました。生協とJAの連携で職員の連携・出向などの人的交流の状況を教えて頂きたい。

青竹常務 実例は、多くないですが、鹿児島では、経済連にコーポの中堅職員が、経済連からもコーポに出向し、商品の共同開発も進めています。連携を深めるには、人と人の交流が重要なだと思います。

協同組合同士で相互に学び合うグループ形式の学習会が増えています。それを通じ、困った時に相談できる人間関係ができれば、連携のベースになります。

茨城では、JA、生協を含む41の協同組合・団体で協同組合ネットワークを作っています。無理に進めず、お互いに強みを持ち寄り、ダメ元でも、まずやつてみる。「ゆるやか」「あいのり」「やつてみる」をキーワードとする活動ですが、このキーワードは、協同組合間連携のヒントになると思います。

第2号議案で、地域の様々な団体・自治体等との連携も掲げています。知らない者同士、考え方も歴史も違うので、色々あると思いますが、

違いを認めることができます。連携を進めるうえで重要な

宮入教授 上手くいった事例は紹介されますが、色々な失敗もあるという話で、いっぱい取り組んでみないと成功も出ません。まずは、やつてみて、お互いに学び合う。学習会などの緩やかな形で情報交換を通じて、互いの強みや抱える課題を、共有することで、連携の種になるという示唆を得ました。

行友顧問 少し話がずれますが、こども食堂の支援をしているJA東京中央の事例をご紹介します。

道教育大の将来先生になる学生に、青年部員の家に泊まる農村ホームステイをしてもらい、農業の現場・実態を見て頂く。そして、先生になつたときには、しつかり子供たちに農業を教えるもらう取り組み。青年部が学校に出向き、じやがいもや小麦の作り方を伝える、出前講義を行うなど色々な形の連携が増えています。協同組合の価値をどう創造していくか。本日

域づくり」を進める宣言をしており、改めてこれが協同組合だと実感しました。協同組合が皆さん役に立つ存在になれるよう、皆さんと力を合わせて参りたい。

宮入教授 組合員が多様化する中、組合員になって良かったと思つてもらえるかどうか。生協の事例にもありました、組合員の想いを形にする、事業にしていくことが、参加やニーズの多様化に対応する1つの答えになるのではないでしようか。協同組合に集まるからできることを、整理して捉え直せば、新たな協同組合の価値創造に繋がると思います。

J Aは、もつと多様な役割を担つていると発信するためにも、新たな協同組合の価値創造は意味があります。太田原先生が、北海道は、協同組合で地域が成り立つコーポアイランドだと言つております。J Aだけでなく、様々な連携で発展して行けるのではないか。どうか。本日は、ありがとうございました。

元々、強い理念があつたわけではありません。子ども食堂を運営する市民団体が規格外の野菜を食材として分けて欲しいと、社会福祉協議会を通じて要請してきたのが発端です。JA青年部で協議した結果、規格外ではなく正規品を出すことになり、差額をJAが負担して供給する仕組みができました。

これを機に、JA職員が社会福祉協議会主催の子ども食堂ネットワーク会議に出席するなど地域との繋がりが強まりました。食堂には畑の写真が貼られ、都市農業の現状を知つてもらう食育の機会にもなっています。参加者を畑に連れて行き、農作業を体験してもらおうという話も出ているそうです。

地域課題に対応しようとして模索を重ねた結果、行政がどうして地域が成るかを

地域課題に対応しようとして模索を重ねた結果、新たな繋がりができる地域が強くなる。それが望ましい形だと思います。理念先行ではなく、気がついたら繋がっていた。協同組合間の連携もそれが本来の姿ではないでしょうか。それぞれの協同組合が互いの得意分野を活かし合い、自然に連携していく。そうなる芽はたくさんあります。逆に言うと、それだけ地域

小野寺副会長 これから抱負、連携についてお話し下さい。時代に即した協同組合を再構築



大会式典に先立ち、生協組合員から災害支援金1億円の目録贈呈が行われました。

JAグループ通信

No.33

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。
 JA北海道大会決議事項の実践やその時々のトピックスなど、
 組合員の皆様に定期的にお伝えします。
 各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JAグループ北海道は、平成31年3月、札幌市内にて、札幌市と近郊の児童養護施設を対象とし、コンサドーレ札幌の試合チケットと、札幌交響楽団のコンサートチケットの贈呈式を行いました。この取り組みは、JAグループ北海道が社会貢献活動の一環として、平成19年度より実施しており、今年度はサッカーの試合に560名、コンサートに50名を招待します。チケット贈呈にあたり、「農家の方々からのプレゼントです。試合やコンサートに出かけるときは、プレゼントしててくれた農家の方々のことを思い出してくれる」と嬉しい。楽しんで来て下さい。」との言葉とともに代表児童2名にチケットを手渡しました。



JA北海道中央会



JA北海道信連



JAバンクのマスコット・キヤラクタ「ちよりス」に新しい仲間「よりぞう」が加わることになりました。今後、より一層地域の皆様に寄り添い、どんなときでも気軽に相談して頂ける存在でありたい、そんなJAバンクの想いから「よりぞう」は生まれました。

JAバンクは、「よりぞう」「ちよりス」とともに事業展開を行つて参りますので、ご愛顧の程よろしくお願ひ申し上げます。



酪農家の拠出による運動「ミルクランド北海道」の一環として、北海道産牛乳・乳製品の専門カフェ「MILKLAND HOKKAIDO ↓ TOKYO」を、初の常設店舗として、東京・自由が丘に3月6日オープンしました。お店ではこだわりの北海道産牛乳やチーズを品揃えするほか、牛乳をふんだんに使用した料理メニューも提供。北海道酪農の素晴らしさを発信すると共に、新たなファンの獲得をはかつています。



ホクレン



J A 北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るために、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しております、様々な医療・健康情報を発信しております。



J A共済連北海道は、3月13日に北海道スバル白石店にて、交通道徳の向上と交通事故防止への取組みを行う北海道交通安全推進委員会へ、交通安全を呼びかける交通安全広報車として、スバル社製のアイサイトを搭載し、安全性・操作性に優れた「レヴォーグ」を寄贈いたしました。

J A共済連は、組合員・地域住民の安全・安心に貢献できる活動にこれからも取り組んでいきます。



J A 共済連北海道

